

事業名 : たじま自然探検隊

団体名 : ブンダバー

1 事業内容

日時 5/27～2/17

場所 新温泉町の海や山

内容 ブンダバーの会員や保全活動を行う協力者が、子どもとその保護者を対象の自然体験活動を行い、環境問題を知ってもらう。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
5/27	企画会議、チラシ作成	Zoom	5
6/29	遺伝子攪乱啓発イベント 改良メダカを川に流さないで！	浜坂の田んぼ、浜坂 先人記念館以命亭	30
7/27	むしむし調査隊	但馬牧場公園	49
7/28 AM	海の生き物調査隊 温暖化で見られる生き物が変わっている！？	塩谷海水浴場	39
7/28 PM	海の生き物調査隊 温暖化で見られる生き物が変わっている！？	塩谷海水浴場	46
8/24 AM	川の生き物調査隊	久斗山地区公民館	25
8/24 PM	川の生き物調査隊	久斗山地区公民館	27
9/29	マナーを守ったサステナブル釣り入門 ハゼ釣り&天ぷら作り	白馬公園、松林キャンプ場	39
10/6	マナーを守ったサステナブル釣り入門 ハゼ釣り&天ぷら作り	白馬公園、松林キャンプ場	43
10/14	増え続ける竹問題 竹を活用したクッキング	久斗山地区公民館	20
10/27	獣害最前線 増え続ける鹿をどうする！？ジビエクッキング付き	久斗山地区公民館	18
12/7	ミツガシワを守れ！ リースを作って希少種を守る取り組みを知ろう！	ナカケー 白川店2F	26
1/25	地球温暖化を感じるスノーシューハイキング	久斗山地区公民館	10

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

今までは自然で遊ぶことを主目的としていたが、環境問題と絡めたテーマを取り組んだことで、メンバーの中でも環境問題に関心が強くなった。

(2) 地域への波及

兵庫県の端っこということで、鳥取側、但馬側両方から参加者が多く、また地域のつながりも県を跨いで波及しているのは、新温泉町の強みである。数年間この自然体験活動が続けてきたことで、中学生などになりブンダバーを卒業した参加者なども「新温泉町は良い思い出がいっぱい！」と、故郷のように思い出してもらえる場所になっているようで、嬉しい限りである。また、今回はイベントを通してビーチクリーンなどを積極的に行った。それを見た地域の方々から「頑張ってるね！私もやってみようか

な！」と声をかけてもらったり、地域の方々の行動変容のきっかけになればと思う。

3 協働の相手方

ブンダバーのイベントは他団体や地域の協力無くしては成立しない。今までも関わりのあるミツガシワ保存会、久斗山地区公民館、上山エコミュージアム、浜坂観光協会、岸田川漁協、但馬自然史研究所、鳥取環境大学、鳥取大学の学生だけでなく、新たに地域に移住してきたハンターの方の仕事について伺ったり、鳥取環境大学でビオトープ作りをしている学生や、豊岡高校で遺伝子攪乱の問題を研究している学生を講師に招いたイベントを開催したりと、さらに地域への波及は広がっている。彼らにお世話になるだけでなく、彼らの活動をブンダバーのイベントを通じて多くの参加者に知ってもらい、応援してもらうことで持続的に活動してもらえるような、お互いにとってWin-Winな関係が築いていけたら、と思う。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

資金面の課題は、継続してある。資金確保のために観光客向けに荒湯プリンやウミホテルの事業も、それぞれ昨年度より体験者数を増やしているが、まだまだである。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

ブンダバーは、年々募集地域を拡大してきて、現在、但馬全域や鳥取東部からの参加も多く、ありがたいことに、人気なイベントではキャンセル待ちの状態も発生している。一方で、新温泉町からの参加は年間を通して数組程度と悲しい。岩美町や香美町からの参加も同じようなので、人工規模からしたら妥当なのかもしれないが、やはり地域の自然を地域の人に知ってもらうというところは見落とさないようにしたい。拡大にばかり夢中にならず、地道で持続的な活動を意識したい。



6年7月27日 むしむし調査隊



6年7月28日 海の生き物調査隊 AM



6年8月24日 川の生き物観察会 PM



6年12月7日 野草リース